

【産業技術】

研究開発分野での「革新的なヨーロッパの創造」を提案 (EU)

欧州連合 (EU) は研究開発分野では米国や日本の後塵を拝し、中国やインドなどの追撃を受けるという状況にあり危機感を抱いている。また、EU は 2010 年までに域内総生産に占める研究開発投資の割合を 3% に引き上げることを目標としているが、現状では目標達成は難しいという状況にある。このため EU は、「新産業戦略」や「研究・イノベーションのための行動計画」などを次々と策定し現状の打破に努めている。2005 年 10 月 27 日、英国のハンプトンコートで開催された EU 首脳会議でもグローバル化対策の優先課題として、地球温暖化対策や移民対策とともに、研究やイノベーションが取り上げられた。

欧州委員会は首脳会議後、アホ氏 (フィンランドの元首相) を議長とする 4 人の専門家グループ (以下、専門家グループ) に、研究・イノベーション分野における EU の現状評価とともに状況改善のための提案を行うよう要請した。専門家グループは 1 月 20 日、「革新的なヨーロッパの創造 (Creating an Innovative Europe)」と題する最終的な報告書を欧州委員会に提出し、EU における知識社会に関する政治家の発言と実際の予算面での優先課題の間には大きな隔たりがあることを指摘するとともに、「手遅れにならないうちにイノベーションを促進しなければ、経済成長も望めず、EU の社会モデルを維持できなくなる」との警告を発した。

報告書では、EU では新技術が有効に利用されておらず、生産性で米国に劣っていることや、EU 域外で研究を行う EU 企業が増えていること、依然として伝統的な産業に依存していることなどが指摘されている。こうした現状を打破するための戦略として専門家グループは、「イノベーションに適した市場の創設」、「研究開発財源の強化」、「研究者を含む労働者や資本、アイデアのモビリティの促進」を提案している。

EU の研究開発投資の停滞の一因として、企業による研究開発投資の鈍化が指摘されているが、報告書は新製品や新サービスを商業化するためのイノベーションに適した市場の欠如が、EU の企業に研究開発投資やイノベーションのための投資を躊躇させていると分析している。例えば医薬品部門では、加盟国により法規が異なることが大きな障害となっており、売れ行きの良い医薬品が域外で生産されるケースが増えている。こうした事態を回避するためにも EU レベルでの各種法規の統一が急務となる。また、EU 規格の世界レベルでの使用促進、公共調達を通じた需要の刺激、競争力のある知的財産権制度の確立などが必要となる。

研究開発投資を促進するためには、大規模な戦略的行動も必要となる。専門家グループは、e-ヘルス、医薬品、エネルギー、環境、運輸、ロジスティック、デジタル・コンテンツなどをその例として挙げ、それぞれの分野で加盟国における EU の行動の調整を行う「ハイレベルの独立したコーディネーター」を指名することを勧告している。

EU では現在、研究開発投資は域内総生産の 2%あまりに止まっている。これを 3% にまで引き上げることが EU の目標となっているが、公共部門より民間部門の投資が弱い。こうしたことから研究者の負担の軽減といった税制や社会保障関連の手段を最大限に活用することや、国庫補助や構造基金といった分野での EU レベルの政策の見直しも必要となる。専門家グループは、構造基金は全ての地域が知識社会に参加するための重要な手段であるとみなしており、構造基金に占める研究やイノベーションに充当される資金の割合を 3 倍に増やすことを提案している。

なお、専門家グループは、「域内総生産の3%以上」という目標は、あくまで指標であり、最終的な目標と見做すべきではないとし、達成が難しくなった数値目標にはこだわらず、リスボン戦略（2000 年に策定された EC の経済・社会政策に係る包括戦略）の精神を尊重した新たな「研究・イノベーション協定」に加盟国が署名することを提案している。リスボン戦略では、各加盟国が独自に行動し結果を比較した上で、最も有効な戦略を交換する方法が取られているが、この方法がうまく機能していないのは明らかで、専門家グループは「パラダイムの変換」を提案し、「より包括的な EU 化されたアプローチ」の必要性を説いている。

欧州委員会は 2006 年春の EU 首脳会議で研究・イノベーションに関する報告書を提出するが、専門家グループの提案はこの報告書に盛り込まれることになる。

< 参考 >

欧州委員会：

<http://europa.eu.int/invest-in-research/research06.htm>

以上